

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 29 日 (2006.6.29)

【公表番号】特表 2005-530888 (P2005-530888A)

【公表日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【年通号数】公開・登録公報 2005-040

【出願番号】特願 2004-515676 (P2004-515676)

【国際特許分類】

C 0 9 D 125/12 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 125/12

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 15 日 (2006.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

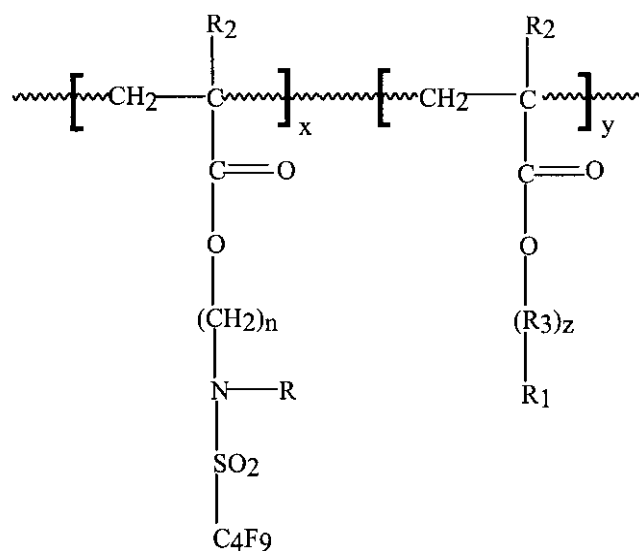
【請求項 1】

(a) スチレン、メチルスチレン、ビニルまたはそれらの組み合わせから誘導された単位および 1 種以上のアクリレート、メタクリレート、アクリロニトリルまたはそれらの組み合わせから誘導された単位を含むインターポリマー化単位を有するポリマー、(b) 隠蔽顔料、(c) 非セルロース系増粘剤および (d) (1) ヘプタフルオロプロパンスルホンアミド部分、ノナフルオロブタンスルホンアミド部分、ウンデカフルオロペンタンスルホンアミド部分およびトリデカフルオロヘキサンスルホンアミド部分からなる群から選択された少なくとも 1 個のパーフルオロアルキル部分と (2) 少なくとも 1 個のアルキレンオキシ部分を含む少なくとも 1 個のポリオキシアルキレンブロックを含むフルオロケミカルアクリルポリマー添加剤少なくとも約 0.05 質量% / 体積を含むラテックスペイント組成物であって、前記フルオロケミカルアクリルポリマー添加剤が前記フルオロケミカルアクリルポリマーの全質量を基準にして約 5 ~ 約 30 質量% の炭素に結合された弗素を含み、前記ラテックスペイント組成物が少なくとも 20 % 且つ臨界顔料体積濃度未満の顔料体積濃度を有するラテックスペイント組成物。

【請求項 2】

前記フルオロケミカルアクリルポリマー添加剤は、次の一般式：

【化 1】



(式中、

【化 2】

~~~~~

は重合性鎖またはポリマー鎖中の結合を表し、

R、R<sub>1</sub>およびR<sub>2</sub>はそれぞれ独立して水素または炭素原子数 1 ~ 4 のアルキルであり、

R<sub>3</sub>は、互いに連結され 2 ~ 6 個の炭素原子を有する少なくとも 1 個以上の直鎖または分枝のアルキレンオキシ基、あるいは 12 ~ 20 個の炭素原子を有する直鎖または分枝のアルキレン基であり、

n は 2 ~ 10 の整数であり、

x、y および z は少なくとも 1 の整数である )

によって表されるポリマー添加剤から選択される、請求項 1 に記載のペイント組成物。